

下水道機構の『新技術情報』 第117号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

通勤電車から富士山が見えるようになると冬の到来を感じます。先週は、真っ白に雪化粧をした富士山を何度も拝めました♪朝のささやかな楽しみです♪急に寒くなりましたが、風邪などひかないようお気を付けください。

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第117号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・11月の技術サロンは横須賀市上下水道局技術部長 青木孝行氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、11/20(水)に管路技術共同研究委員会、11/21(木)に調査検討支援委員会を、11/22(金) 下水道新技術セミナー・SM手法を踏まえた長寿命化計画策定に関する手引きの説明会を開催します

■Tea Break

・便座が回った(技術評価部 吉川副部長からの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・東京下水道設備協会様より、公開講演会「江戸・東京の水模様—多摩川に鮎が1200万匹帰って来た—」の開催についてお知らせです！

■国からの情報

・11/8付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●11月の技術サロンは横須賀市上下水道局技術部長 青木孝行氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは、「横須賀市の下水道と中核都市等における下水道事業の取り組み(下水道研究会議)について」でした。はじめに、観光やグルメを含めた横須賀

市の概要と横須賀市下水道事業の概要、そのあとに、代表幹事を務めている中核市等で構成される下水道研究会議の紹介、そして、中核市における下水道事業の取り組み状況等について、ご講演いただきました。

さて、次回のサロンは、12月12日(木)17:00から18:00。ゲストにはEICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・サンディ下水処理施設 被害復旧調査団団長 中里卓治氏をお迎えして「米国ハリケーン・サンディ被害処理場の調査報告」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。。。。

機構の動き (機構の行事予定です)

。。。

●平成25年11月20日(水) 10:30~16:00

行 事：平成25年度 第2回管路技術共同研究委員会

場 所：東亜グラウト工業(株) 浦安営業所

議 案：1. 修繕工法による管きよ長寿命化に関する共同研究(継続)

2. 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究(新規)

●平成25年11月21日(木) 13:30~16:00

行 事：平成25年度 第1回調査支援検討委員会

場 所：下水道機構8階 特別会議室

議 案：1 設置趣旨 2 各研究内容の概要と進捗状況の報告

3 各研究内容への助言 4 総括

●平成25年11月22日(金)13:30~16:45 【東京会場(発明会館)】

平成25年11月29日(金)13:30~16:45 【大阪会場(大阪科学技術センター)】

行 事：58回 下水道新技術セミナー

テーマ：下水道における革新的技術開発の取り組み

対 象：公共団体、企業等の下水道技術者など

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●平成25年11月22日(金)11:00~12:30 【東京会場(発明会館)】

平成25年11月29日(金)11:00~12:30 【大阪会場(大阪科学技術センター)】

行 事：SM手法を踏まえた長寿命化計画策定に関する手引きの説明会

参加費：無料。※手引き(案)の製本(1,000円)の申し込みは、締め切りました。

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/seminarsp/seminarsp-form>

◎平成25年11月25日(月) 13:00~15:00

行事：平成 25 年度 第 2 回 新技術設計手法等共同研究委員会

場所：下水道機構 8 階 中会議室

議案：大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法
に関する共同研究（継続）

◎平成 25 年 11 月 25 日(月) 14:00~17:00

行事：平成 25 年度 第 2 回汚泥処理技術共同研究委員会

場所：下水道機構 8 階 特別会議室

議案：1. 活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究
2. 酸化剤を用いた余剰活性汚泥削減技術（標準活性汚泥法）に関する
共同研究

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●便座が回った（技術評価部 吉川副部長からの投稿です）

下水道の仕事に 40 年もかかわっていると、旅先ではついつい下水道関係の施設や設備が気になるもので、土産話の一つや二つはこれらの話となることが多い。今回の話は、今年 3 月に昔の仕事仲間 4 人とドイツへ旅行した時の話です。

旅も終わりに近づき、バスでドイツからウィーンへ向かう途中、トイレタイムのため道の駅風の大きなドライブインに立ち寄りしました。ウィーンまでは相当な距離があるため、全員トイレに直行。ここのトイレも有料で、料金は 0.5 ユーロでした。自動改札方式で、0.5 ユーロ (50 セント) または 1 ユーロの硬貨を投入すると、鉄のバーが下がり、一人づつ中に入れるようになっていました。トイレ内は掃除が行き届きとても清潔でした。早速、用を済ませて外へ出ようと思いましたが、折角 0.5 ユーロも払ったのだから、簡単に退出しては勿体無いと思い、特に用事はなかったのですが、大きい方の個室をちょっと覗いて見ることにしました。個室には便器が中央に構えており、便器に蓋はなく、便座の形は日本で見慣れた楕円、卵型とは異なり、まん丸の形をしていました。一応、目視調査は済みましたが、ここまで来ると次には機能を確認めたくなりました。そして、便座の上の方に目をやると、そこにはボタンが二つ並んでいました。一つには水洗らしき絵がついていたので、早速押してみると、予想通り水が流れ出てきました。さて、もう一つのボタンは何かと恐る恐るスイッチオンをしてみると、なんと、目の前の便座がまわり始めたのです。そして、一周したところで静かに止まりました。何かの間違いかと思い、もう一度押してみると、やはり一周して元の位置に止まりました。

慌ててバスに戻り、仲間に写真を見せ、その時の様子を詳細に話したところ、結局、これは便座の清掃・消毒のためではないかとの結論に達しました。しかし、もし間違えて使用中にスイッチオンしたらどうなるか？確かめずに戻ったことが悔やまれますが、これについては、皆様の想像にお任せします。

また、このトイレ、入り口で 1 ユーロ硬貨を使った人には、お釣りととして店内のみ利用可能な 0.5 ユーロと印刷されたチケットが出てきます。しかしながら、店内には一品 0.5 ユーロで買える品物はなく、このチケットを使って飲み物やアイスクリーム、土産物など

を沢山買うようにしかけたもので、トイレの利用だけのお客を逃がさないアイデアに感心した次第です。

。○。
まる子の結まーる（皆様との交流の場です）
。○。

●公開講演会「江戸・東京の水模様ー多摩川に鮎が1200万匹帰って来たー」を開催します。【東京下水道設備協会】

（一社）東京下水道設備協会では、12月2日（月）に栗原秀人氏を迎えて公開講演会「江戸・東京の水模様ー多摩川に鮎が1200万匹帰って来たー」を新宿区角筈ホールで開催します。講師の栗原さんは建設省で京浜工事事務所長や下水道事業課長を歴任され、現在メタウォーター（株）に勤務の傍ら NPO 法人 21 世紀水倶楽部理事、GKP 企画運営委員長としても精力的に活動されています。

以前死の川と呼ばれた多摩川に魚が戻り、隅田川のウオーターフロントも活気に満ちています。人間と「水」がどう関わって来たかとの視点から講演を進める予定です。詳細は当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.setubikyo.or.jp/main/>

お申し込みは、東京下水道設備協会へメール（下記）でお願いします。会場の関係から 11 月 22 日までにお申し込み下さい。

watanabe@setubikyo.or.jp

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2013. 11. 15 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



今週のラインナップで仙台市から管路内設置型下水熱利用システムの話があります。

老朽化対策と下水熱の活用の一石二鳥、老朽化に対応しながら新しい社会ニーズ

にも対応するものです。テレビ報道での紹介は下記。(参考情報にも記事あり)

<http://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20131114/5987171.html>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○台風 18 号における下水道整備効果の HP 公表について【下水道事業課】

○来週 23 日(土)は東京湾大感謝祭!!【流域管理官】

●管路内設置型下水熱利用システムが稼働しました【仙台市】

=====

○台風 18 号における下水道整備効果の HP 公表について【下水道事業課】

本年 9 月 15 日から 16 日にかけて、近畿・東海地方を中心に総雨量 400mm を超える激しい大雨をもたらした台風 18 号。本災害においては、各都市で下水道施設の整備効果が見られたところですが、その代表事例として、京都府桂川右岸流域下水道「いろは呑龍トンネル」の整備効果資料を水管理・国土保全局のホームページに掲載しましたのでお知らせします。

以下 URL の「本省発表資料」(下水道施設の整備効果については 8 ページ目)をご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/saigai/10typh18/index.html>

○来週 23 日(土)は東京湾大感謝祭!!【流域管理官】

11 月 23 日(土)は「東京湾大感謝祭」が開催されます。江戸前を語るトークショーや、東京湾では見られなくなって久しい「アオギス」の生きた展示、江戸前の試食、海中 3D 体験や水中映像等、東京湾の魅力や恵みを楽しみながら再発見できるイベントが満載です。皆様のご来場をお待ちしています!

また、午前中には東京湾官民連携フォーラム設立総会が開催されます。官民連携フォーラムの会員を募集中です。入会費無料ですので組織、個人で是非ご登録ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000091.html

(官民連携フォーラムの会員募集について)

http://www.wave.or.jp/tbsaisei/2013/tbsaisei_20_0809.pdf

●管路内設置型下水熱利用システムが稼働しました【仙台市】

仙台市と積水化学工業(株)が実施している、管路内設置型下水熱利用システムの共同研究において、システムが稼働いたしましたのでお知らせいたします。

システムは、積水化学工業(株)が開発し、現在大阪市海老江下水処理場で B-DASH の実証事業として検証を行っている、管路更生工法と合わせて下水熱回収機能を設置する技術を用い、スーパーマーケットの給湯に利用するものです。B-DASH との違いとしては、実使用下における合流式下水道管きよを対象とし、地震対策事業に合わせて実施していること、給湯利用であること、供給先が民間であることなどが挙げられます。

今回の取り組みは、東日本大震災直後、「下水道地震・津波対策技術検討委員会」の「復興支援スキーム分科会」で、積水化学工業(株)から仙台市に対し提案いただいた

た技術が実用化に至ったものです。新たな分散型の再生可能エネルギーとして注目されている下水管渠熱利用が、エネルギー問題がクローズアップされた東日本大震災の被災地から日本で初めて実用化されたというところに大きな意義があると考えています。

共同研究は平成 27 年 3 月末まで実施し、実使用下でのデータ取得やシステムの検証、今後の展開への課題整理などを行っていく予定です。

詳しくは、仙台市ホームページ市長記者発表資料をご覧ください。

<http://www.city.sendai.jp/kaiken/131112gesuido1.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「国土技術政策総合研究所講演会」の開催について【国土技術政策総合研究所】

(12月3日開催)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2013/kouenkai2013.htm>

→11月8日掲載

■「SM手法を踏まえた長寿命化計画策定に関する手引きの説明会」の開催について

【下水道機構】

(11月22日<東京会場>、11月29日<大阪会場>開催)

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/seminarsp>

→10月18日掲載

■「下水道新技術セミナー」の開催について【下水道機構】

(11月22日<東京会場>、11月29日<大阪会場>開催)

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

→10月18日掲載

■「第10回リン資源リサイクルシンポジウム」の開催について

【リン資源リサイクル推進協議会】

(11月22日開催)

<http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/10kai-sinpoannai.pdf>

→10月11日掲載

発行元： 公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ： <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
